

問 次の空欄に、あてはまる語句をかきなさい。

$-3$ ,  $-3.5$ ,  $-\frac{1}{2}$  のような  $0$  より小さい数を①.....という。

①に対して、 $5$ ,  $0.5$ ,  $\frac{3}{4}$  のような  $0$  より大きい数を②.....という。

「+」のことを③....., 「-」のことを④.....という。

正の整数  $1, 2, 3, \dots$  のことを, ⑤.....ともいう。

数直線上で、 $0$  からある数までの距離を、その数の⑥.....という。

数の大小関係を表す記号  $>$ ,  $<$  を⑦.....という

たし算のことを⑧....., ひき算のことを⑨.....という。

$7-9+8$  という式について、 $7$ ,  $-9$ ,  $8$  をこの式の⑩.....といい、

$7$ ,  $8$  を⑪.....,  $-9$  を⑫.....という。

加法について、どんな場合でも次の  $2$  つの法則が成り立つ。

{  $2+3=3+2$   $\bigcirc+\square=\square+\bigcirc$  これを加法の⑬.....法則という。  
 $(2+3)+4=2+(3+4)$   $(\bigcirc+\square)+\triangle=\bigcirc+(\square+\triangle)$  これを加法の⑭.....法則という。

かけ算のことを⑮....., わり算のことを⑯.....という。

$2$  つの数の積が  $1$  になるとき、一方の数を他方の数の⑰.....という。

乗法について、どんな場合でも次の  $2$  つの法則が成り立つ。

{  $2\times 3=3\times 2$   $\bigcirc\times\square=\square\times\bigcirc$  これを乗法の⑱.....法則という。  
 $(2\times 3)\times 4=2\times(3\times 4)$   $(\bigcirc\times\square)\times\triangle=\bigcirc\times(\square\times\triangle)$  これを乗法の⑲.....法則という。

$5^2$  を  $5$  の  $2$  乗,  $5^3$  を  $5$  の  $3$  乗と読む。また  $5^2$ ,  $5^3$  の右上の小さな数  $2$ ,  $3$  はかけあわす数  $5$  の個数を示したもので、これを⑳.....という。

数の加法, 減法, 乗法, 除法をまとめて㉑.....という。

{  $\bigcirc, \square, \triangle$  がどんな数であっても、次の式が成り立つ。  
 $(\bigcirc+\square)\times\triangle=\bigcirc\times\triangle+\square\times\triangle$

$\triangle\times(\bigcirc+\square)=\triangle\times\bigcirc+\triangle\times\square$  このきをまりを㉒.....法則という。

